山岳救助隊ニュース

令和８年第10号

発行：令和8年11月10日
埼玉県警察本部　地域部地域総務課

山岳遭難発生状況（令和８年10月末現在）

59件61人（－4件－6人）・死傷者38人（死亡６人、負傷者32人）

秋の登山シーズン最盛期

11月に入り、埼玉県内の山でも紅葉が見頃になってきています。
山岳遭難の発生が多い時期でもあるので、入山する際は、次の点に注意して下さい。



①油断大敵！

「本格的な登山じゃないから、準備は必要ない。」
「少し山を登るだけだから、大丈夫。」
と軽い気持ちで入山して、転倒・滑落や疲労等により自力下山ができなくなる方がいます。
街歩きとは違うので、リスクを伴います。
足元等に十分注意して、無理のない登山にしましょう。



②野生動物に注意！

県内の山間部では、広い範囲で熊の目撃情報があります。
野生動物は、どこの山にでも出没するものと思って、熊鈴等の装備の準備をお願いします。

③登山届（計画）の作成・提出

登山地図アプリ等が進化して、スマートフォン等から簡単に登山届（計画）の作成及び提出ができるようになりました。
入山する際は、必ず作成及び提出をするようにお願いします。

ポイント　**「低山だからと油断しない」**　※低山：標高 1000m以下

下の表は、過去５年の低山での山岳遭難の発生件数となります。
毎年、約半数は低山での発生となっており、死亡事故も発生しています。

	低山件数	全体割合	低山死者数	全体割合
R3	46	56%	4	33%
R4	44	51%	7	50%
R5	42	45%	1	13%
R6	43	59%	1	25%
R7	39	51%	3	75%
R8.10	26	44%	3	50%

※低山…1000m以下

	総件数	総死者数
R3	82	12
R4	87	14
R5	94	8
R6	73	4
R7	77	5
R8.10	59	6

山 岳 遭 難 防 止 対 策

山岳遭難が増加する秋山シーズンに備えて、過去に道迷い遭難が発生した箇所を中心に登山道整備を実施しました。



【トラロープの設置】



【ピンクテープの設置】

現在地に不安を感じたら、地図や地図アプリで現在地を確認しましょう。

一番の山岳遭難防止対策は登山者一人一人が入念な準備をすることです。







～最新の山岳遭難情報はコチラ！～

埼玉県警では、山岳遭難情報や登山する際の注意事項を随時発信しており、滑落場所などの遭難現場の写真もアップしています。

下記、二次元コードからアクセスできますので、ぜひフォローしていただき、登山の参考にしてみてください。

情報発信

エックス（旧ツイッター）で山岳遭難情報や登山する注意事項などを随時発信していますので、参考にしてください。

アカウント：埼玉県警察本部地域部地域総務課
@spp_chisouka

